

第73回全国ろうあ者大会 in いわて 《大会終了のお礼》



6月12日(木)から15日(日)までの4日間、岩手県盛岡市のいわて県民情報交流センター(アイーナ)、盛岡地域交流センター(マリオス)、盛岡市総合アリーナ(盛岡タカヤアリーナ)に於いて全国各地から約2,600名の参加者が集い、「第73回全国ろうあ者大会 in いわて」が開催されました。

この大会は、14年前の東日本大震災で(一財)全日本ろうあ連盟をはじめ、全国の仲間から多大のご支援をいただいたことに対する感謝とお礼の気持ちを込めた大会でもあり、被災県では2019年の「第67回全国ろうあ者大会 in 宮城」以来の開催となりました。

本大会は評議員会、研究分科会、青年のつどい、日帰りツアー、東京2025デフリンピック関連企画等の催しがありましたが、なかでも特に特別企画では本県の偉人である宮沢賢治が青春時代に過ごした地である岩手県盛岡市で大会参加者にイーハトーブの世界を知っていただくために代表的作品の「銀河鉄道」、「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」を取り入れた「手話交響楽劇と銀河鉄道の夜」と「手話劇 運転免許裁判・アーカイブ上演会」は大好評であったと伺っております。

実行委員会メンバーである本協会青年部が「前夜祭」、「わんこそば大会」ではみんなと協力しながら懸命に取り組みました。引継式でも同大会実行委員会副委員長の粋な計らいで青年部のみなさんがステージ上に登壇しました。次代を担う若者達が今大会を通じて、全国大会という舞台で貴重な経験を積んだと思います。

最後になりますが、本大会開催に向けてご尽力くださいました岩手県、盛岡市をはじめ、(一財)全日本ろうあ連盟、岩手銀行、東家、関係団体や実行委員会の皆様のおかげで21年振り2度目となった本大会は無事に全日程を終えることができましたことを、心から感謝申し上げ、お礼の言葉といたします。

第73回全国ろうあ者大会 in いわて

実行委員長 千葉 孝

『We Love コミュニケーション』の署名活動も 14年過ぎてもわすれない。

2025年6月15日(日)、第73回全国ろうあ者大会が無事に終了したあと、全日本ろうあ連盟の方々と実行委員が集まりました。山根事務所長のご挨拶のあと、久松事務局長より「We Love コミュニケーション」署名活動についてのお話がありました。その内容がとても印象的で、心に深く残りましたが、みなさんの前でうまく言葉にすることができませんでした。

14年前、2011年3月6日(日)には釜石市大槌町で第33回耳の日記念岩手県ろうあ者福祉大会が開催されました。その際、沿岸地域(宮古・釜石・大船渡・陸前高田)の方から署名書をお預かりし、事務所に持ち帰りました。3月9日までに整理はできたのですが、その日に投函しそびれてしまい、翌日の3月10日夕方に郵便ポストに投函しました。

そして、翌3月11日、東日本大震災が発生しました。その後の記憶があまり残っていないほどの混乱の中、20日を過ぎた頃、連盟の方から「署名書が無事に届きました」との電話があり、本当に驚きました。当時、宅配便は停止していましたが、郵便局の方々が避難所を探し回りながら届けてくださったそうです。大切な署名書が時間をかけてでも連盟に届いたことに、郵便局の皆さんのご尽力に対し心から感謝しています。

その年の6月、佐賀県で「第59回全国ろうあ者大会」が開催されましたが、私は被災者支援活動を最優先にし、参加を見送ろうと心に決めていました。しかし、佐賀県実行委員会から何度も「ぜひ来てほしい」とFAXをいただき、気持ちが揺らぎました。

支援活動の中で、被災者の方々から「全国の皆さんに支援物資をいただいた。ありがとうと伝えてほしい」という言葉をいただき、その思いを受けて、ようやく佐賀大会への参加を決めました。大会では副本部長の千葉孝さんをはじめ、岩手県の評議員も参加し、全国の皆さまに感謝の気持ちをお伝えしました。

大会期間中、連盟職員の方が私のところに来て、署名書が届いた際の様子を手話で伝えてくれました。電話ではわからなかったことです。久松事務局長が署名書を見つめながら肩を震わせ、泣いているようだったと聞いたとき、その重みを深く感じました。私も署名書を送る前に確認しましたが、大船渡市や陸前高田市の署名が多く、署名してくださった方々の安否が気がかりでした。

支援活動の中で、署名活動をされた支部長にお会いする機会があり、「署名をくださった方の中に、行方不明になってしまった方もいる」と伺い、胸が痛みました。

前石野連盟長、久松事務局長をはじめ、連盟の職員の皆様は、岩手県に強く寄り添ってくださり、岩手本部や県福祉課と岩手県立視聴覚障がい者情報センターと連携しながら支援と助言をいただきました。岩手だけでなく、宮城や福島も含め、連盟の皆さんが走り回ってくださったこと、深く感謝しています。

あれから14年。今もなお、全日本ろうあ連盟が全国のきこえない仲間たちを思い、活動を続けてくださっていることに、心から感謝申し上げます。連盟の皆様の今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

東日本大震災聴覚障がい者支援岩手本部
前本部長 高橋 幸子



一般社団法人岩手県聴覚障害者協会会長再任の挨拶

4月27日(日)に、ふれあいランド岩手で行われました第84回通常総会後の臨時理事会において、一般社団法人岩手県聴覚障害者協会会長に再任いたしました(5期目)。

理事・監事、事務員と共に今後も精一杯、務めてまいります。

さて、今年度は「第73回全国ろうあ者大会 in いわて」をはじめ、「東京2024デフリンピック」の関連企画等のビッグイベントがあり、大会成功に向けて皆さんと共に頑張っていきましょう。

昨年4月1日に「岩手県手話言語条例」が施行されましたが、今後は県内すべての市町村に手話言語条例が成立させるべく、全力で取り組みたいと思います。

最後になりますが、会員の皆様とのコミュニケーションを大切に、共に歩みながら、協会の諸行事等に全力を尽くしてまいりたいと思います。

簡単ではございますが、5期目のご挨拶といたします。

(千葉 孝)

2025年度～2026年度東北ろうあ連盟新役員体制

【代表委員】

副連盟長・・・千葉 孝

教育担当・・・齊藤 智子

【その他】

社会福祉法人 全国手話研修センター後援会運営委員・・・齊藤 智子

JAPANESE DEAF NEWS

聴覚障害新聞

(略称：日聴紙)

発行人：石橋大吾 編集人：中嶋道紀

購読料 1,200円・年間、郵送料・税込 郵便振替口座 01460-5-28898

日聴紙のホームページ：<https://jdn.jfd.or.jp/> メールアドレス：jdn@jfd.or.jp

昭和42年4月17日第3種郵便物認可

2025年6月15日

<号外> 月刊1日発行

発行 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

編集部 〒602-0901

京都府京都市東区室町通今出川下ル

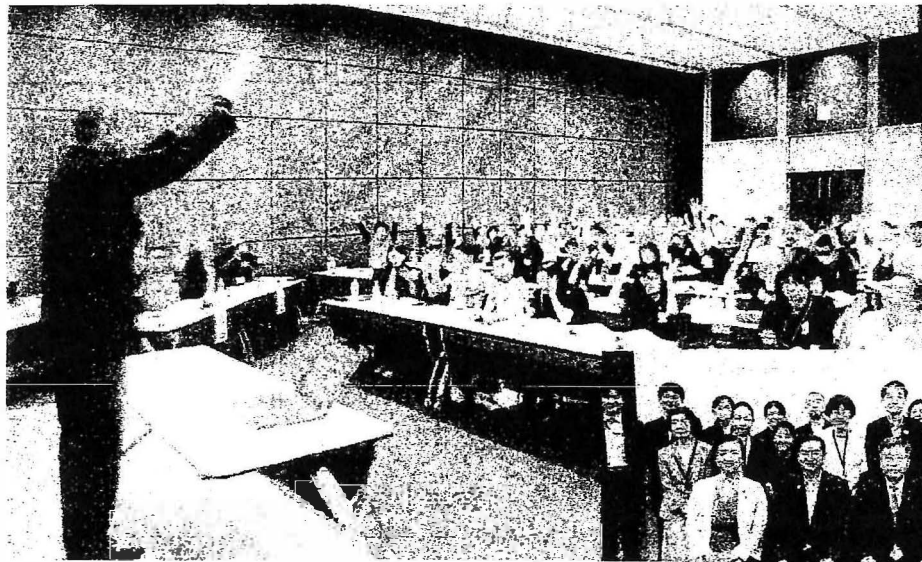
議事会館内

FAX 075-441-6147

TEL 075-441-6079

手話施策推進法案

来週の成立へ！ 参議院・衆議院内閣委員会の可決で秒読み



号外



(上)6月13日の連盟評議員会第3分科会会場で
法案の衆議院内閣委員会通過との報に拍手湧く

(右)参議院の議決後、議連の代表と傍聴者たちで

ぜひ、日聴紙のご購読を！

「手話に関する施策の推進に関する法律案(通称、手話施策推進法案)」が6月13日の参議院本会議と衆議院内閣委員会で全会一致で可決。来週の衆議院本会議の採択による法案の成立が濃厚になりました。

新法は、超党派の「障害児者の情報コミュニケーション推進に関する議員連盟」が策定して国会に提出したものです。手話に関する専門的知識や技能を有する人材の確保、災害時の情報保障などを取り組むべき事項に挙げています。さらに、9月23日を「手話の日」として国民の理解と関心の増進を図ることも盛り込まれています(裏面に法案の概要)

新法は全日本ろうあ連盟や支援者が2010年から求めてきた「手話言語法案」をベースにしています。同法の制定を求める意見書が16年3月までに全178自治体の議会から国に提出され、22年5月策定の情報アクセシビリティ・コミュニケーション・アクション実施推進法の附帯決議に「手話言語法の立法を含め、手話に関する施策の一層の充実の検討を進めること」の項目が記載されました。今後の流れは日本聴覚障害新聞7月1日号以降でお知らせします。

青年部



【新青年部役員紹介】



					
青年部長 佐藤瞳	事務局長 松森玲奈	事務局員 昆野海翔	事務局員 中村輝月	企画部長 千葉晟久	監事 芳賀智美

	
新企画部員 千葉妃菜	新会計部長 角掛早紀


フォトウォーク企画



4月26日(土)岩手県一関市厳美町で参加者と一緒に歩きながら写真を撮をたくさん撮りました！お茶屋からロープ1本で温かいお茶と共に空飛ぶだんご「かっこうだんご」をみんなで食べました。食べてみた感想は、美味しいを超えてとても最高でした。



令和7年度



**障がい者を対象とした
岩手県職員採用選考受験案内**

岩手県人事委員会

受付期間	令和7年8月1日(金)～令和7年9月19日(金)	
第一次選考	日 時	令和7年11月2日(日) 受 付 午前9時00分～午前9時30分 試験開始 午前10時00分 試験終了 午後3時35分 ※ 昼食は各自ご持参ください。
	会 場	エスポワールいわて(盛岡市中央通1丁目1-38)
	合格発表	令和7年11月17日(月) 午前10時
第二次選考	日 時	令和7年11月下旬から12月中旬で第1次選考合格通知書にて指定する日時
	会 場	朝日生命盛岡中央通ビル(盛岡市中央通1-7-25)
	合格発表	令和7年12月25日(木) 午前10時
採用予定日	令和8年4月1日	

注1 選考日時、選考会場、合格発表日は変更する場合があります。最新の情報は、岩手県職員募集ホームページ(<https://www2.pref.iwate.jp/~hp0741/index.html>)等でお知らせします。

注2 点字により受験する場合には、試験時間が一部異なります。

注3 点字の受験案内をご希望の方は、人事委員会事務局にお問い合わせください。

1 職種区分、採用予定人員等

職種区分	一般事務
採用予定人員	7人
主な勤務先(予定)	知事部局(本庁各部局、広域振興局等の出先機関)、医療局(本庁、県立病院)、教育委員会(事務局、県立学校)、警察本部(本部、警察署)等
職務内容	予算・経理、庶務、調査・統計、関係機関との連絡調整など行政の各分野における一般事務等に従事します。

第20回

手話で話そうよ

全国手話検定試験

2025年 試験日

10月11日(土) 5級・4級

10月12日(日) 3級・2級

10月18日(土) 準1級・1級

申込期間 6月16日(月)～7月31日(木) 消印有効

※各会場は定員を設けています。定員に達した会場は締切日前でも申込を締め切ります。

受験対象者 手話学習者

※インターネット上で受験できる全国手話検定試験は2026年2月に実施予定です。

この試験の目的は、「手話の知識に加えて、団播委員と手話で会話をするにより、ろう者と手話でどの程度コミュニケーションができるのか」を評価認定することです。この試験が手話を学ばれる皆様の学習の励み(目標)となり、そのレベルに応じて、地域のろう者との交流や仕事などに活用していただけることを期待しています。

手話という言語の豊かさを
知ってもらいたい



写真：藤澤孝伸

作家 五十嵐 大さん

コックとして生まれ育った私は手話と距離を置いていた時期がありました。「聴の耳が聞こえないこと」に対する内面的葛藤が強いなりました。思春期に多い話です。しかし、大人になり 私は改めて手話を学び直しています。語彙が増え、ろうの同僚と深い話が出来るようになるにつれて、手話という言語の豊かさや奥深さを実感する毎日です。だからこそ、ひとりでも多くの人に手話を習得してもらいたい。さまざまな思いを抱き、この検定にチャレンジするすべての人を応援しています。

応援します！
手話を学ぶあなたの一歩が
誰かの安心になる

漫画/イラストレーター 山田 秀幸 さん



聞こえない人と、聞こえる親子の絆を題材とした漫画に多くが生きても、ふたつの世界」を企画・プロデュースしました。手話やろう者の方々の出会い話、コミュニケーションの本質に気づかせてくれました。まさに心を通って語り合うろう者の方々の姿を見て、対話とは「心で向き合うこと」だと実感しました。手話を学ぶことは、人との関係性を築くことでもあると思います。ぜひ、楽しみながら学びを深めてください。応援しています。

検定で高まる 手話の力
手話で広がる 友達の輪

札幌大学 コミュニティ・福祉学系
教授 木下 武徳 さん



し あわせは
ゆ たがな会話
の いたい楽しく、たまには
けん かもいいね
て で話して
い い友、見つけよう！

全国手話検定試験 対策テキスト



至：「これで合格！ 2025 全国手話検定試験 (DVD付き)」
他：「DVDで学ぶ手話の本シリーズ」
5～2巻(3巻版)・準1級1巻(2巻版)

社会福祉法人 全国手話研修センター 全国手話検定試験事務局

T616-8372 東京都京都市右京区嵯峨天龍寺広野道3-4
TEL.075-871-9741 FAX.075-873-2647
(受付時間 9:00-12:00/13:00-17:00 (土・日・祝日除く))
全国手話研修センターHP URL <https://www.com-sagano.com/>
(画面上段「全国手話検定試験 試験事務局」HPより)

主催：社会福祉法人 全国手話研修センター 協賛：公益財団法人 一ツ橋綜合財団 後援：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
協力：一般財団法人 全日本ろう連盟 / 一般社団法人 全国手話通訳連携研究会 / 一般社団法人 日本手話通訳士協会 / 手話を広める理事の会
全国手話研修センター委員会 / 特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 / 認定NPO法人 障害者派遣連携機構
一般社団法人 全日本聴覚者・中重度聴覚者団体連合会 / 全日本ろう学生連合会



◆ 7月 行事予定 ◆

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
第1回理事会						
13	14	15	16	17	18	19
岩通研 夏の研修会						
20	21	22	23	24	25	26
	海の日			デフリンピックキ ャラバン活動	デフリンピックキ ャラバン活動	
27	28	29	30	31		
第1回教養講座						

大会実行委員・スタッフの皆さん

いろいろ準備から本番まで手伝いいただきましてありがとうございました。大会に関わった方々、毎日のよう頑張ったこの経験はいかがでしたか。お疲れと思います。本当にありがとうございました。

9月28日(日)実行委員会の解散式を開催する予定です。皆さん是非参加ください。いろいろ報告を聞きながら大会成功の喜びを分かち合いたいと思います。おって連絡しますので楽しみにお待ちください。



読売センター盛南さんから、事務所の郵便箱に岩手日報2部をそっと入れていただきました。朝開けて見るとビックリ。6/17付の朝刊県内版に「全国ろうあ者大会」の記事が掲載されましたのでお届けいたします。とメモにありました。岩手県内のおおくの方々の思いやりに嬉しくなりました。

月刊

購読料(年間・郵送料共) 2,500円・1部250円
(会員の購読料は会費の中に含む)

郵便振替口座 02370-5-5814

会報 いわて

編集・発行  一般社団法人岩手県聴覚障害者協会

この会報は岩手県福祉基金の助成を受けて発行しています